

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：95項目

問題あり：8件

要確認：12件

問題なし：75件

詳細な検証結果

1. 固有名詞の検証

人名

1. 山田勝彦（やまだ かつひこ）

- 記載内容：「1979年7月19日生」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式プロフィール、Wikipedia記事と一致

2. 父親：山田正彦

- 記載内容：「農林水産大臣を務めた山田正彦元衆院議員」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：山田正彦氏は民主党政権下で農林水産大臣（2010-2011年）を務めた

3. 川内博史

- 記載内容：「欠員補充で同党の川内博史氏が繰上当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2024年の報道で確認

4. 米山隆一

- 記載内容：「2022年の第208回国会で米山隆一議員らとともに提出」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：国会記録で確認

5. 金子恵美

- 記載内容：「山田氏の同期である金子恵美議員」
- 検証結果：△要確認
- 理由：金子恵美議員は立憲民主党所属だが、山田氏と同期（2021年初当選）かどうかは要確認。金子恵美氏は以前にも衆議院議員だった経歴があり、「同期」の定義が不明確

組織名・政党名

6. 立憲民主党

- 記載内容：全文を通じて使用
- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式所属政党

7. 法政大学

- 記載内容：「法政大学卒業後」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式プロフィールと一致

地名

8. 長崎県、長崎3区、長崎2区

- 記載内容：選挙区の変遷
- 検証結果：✓正確
- 根拠：選挙記録と一致

9. 五島市

- 記載内容：「長崎県五島市で酒に酔った山田氏が」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道記事と一致

10. 島原半島

- 記載内容：複数箇所で言及
- 検証結果：✓正確
- 根拠：地域振興活動の記録と一致

役職名

11. 党副幹事長および青年局長

- 記載内容：「現在、党副幹事長および青年局長など要職を務め」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式サイトで確認

12. 農林水産委員会委員

- 記載内容：「農林水産委員会委員や消費者問題特別委員会理事として活躍」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：衆議院の委員会名簿で確認可能

13. 長崎県連代表

- 記載内容：「2018年に立憲民主党長崎県連代表に就任」

- 検証結果：×誤り
 - 正しい情報：2018年に就任したのは長崎県連「代表代行」または後に「副代表」。「代表」という役職かどうかは要再確認
 - 根拠：報道では「県連副代表」の辞任が報じられている
-

2. 数値情報の検証

日付・年月

14. 初当選：2021年10月

- 記載内容：「2021年10月の第49回衆院選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：第49回衆議院議員総選挙は2021年10月31日実施

15. 補欠選挙：2024年4月

- 記載内容：「2024年4月、長崎3区の補欠選挙」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2024年4月28日実施

16. 2024年総選挙：2024年10月

- 記載内容：「2024年10月の第50回衆院選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：第50回衆議院議員総選挙は2024年10月27日実施

17. 泥酔事件：2021年11月

- 記載内容：「2021年11月に起こしたトラブル」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道では2021年11月（選挙直後）と記載

18. 謝罪会見：2021年12月13日

- 記載内容：「同年12月13日に急遽記者会見」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：毎日新聞の報道日付と一致

19. 県連副代表辞任：12月11日

- 記載内容：「12月11日付で立憲民主党長崎県連副代表の職を辞任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道記事と一致

20. オーガニック給食議連設立：2023年6月

- 記載内容：「2023年6月、この議連の設立総会が朝8時から開催」
- 検証結果：✓正確

- 根拠：関連報道および議連活動記録と一致

21. 第208回国会

- 記載内容：「2022年の第208回国会」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：第208回国会は2022年1月17日～6月15日

22. 第213回国会

- 記載内容：「第213回国会農水委員会」
- 検証結果：△要確認
- 理由：第213回国会は2023年1月23日～6月21日。文脈上問題ないが、具体的な委員会日付の記載がない

23. 政治資金規正法改正：2023年6月

- 記載内容：「2023年6月に与党主導で一部改正法が成立」
- 検証結果：×誤り
- 正しい情報：政治資金規正法の大きな改正は2024年に議論され、2024年12月に成立
- 根拠：実際の改正法成立は2024年。2023年には大きな改正は成立していない

24. 児童手当拡充：2024年10月

- 記載内容：「2024年10月から児童手当の所得制限撤廃」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：政府広報と一致

25. 種子法廃止：2018年

- 記載内容：「2018年に廃止された主要農作物種子法」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：主要農作物種子法は2017年に廃止法が成立、2018年4月1日に廃止

26. インボイス制度開始：2023年10月

- 記載内容：「政府は予定通り2023年10月に制度を開始」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：インボイス制度は2023年10月1日開始

統計データ・数値

27. フォロワー数：約4,100人（X/Twitter）

- 記載内容：「2025年には約4,100人に増加」
- 検証結果：△要確認
- 理由：レポート作成時点（2025年11月）での実際のフォロワー数は検証が必要

28. YouTube登録者：約2,650人

- 記載内容：「こちらも約2,650人の登録者」
- 検証結果：△要確認

- 理由：現時点での正確な登録者数は検証が必要

29. 初当選時フォロワー：約1,000人

- 記載内容：「2021年末時点で約1,000人」
- 検証結果：△要確認
- 理由：過去のフォロワー数は記録がない限り検証困難

30. 発言回数：百数十回

- 記載内容：「少なくとも百数十回は委員会や本会議で発言」
- 検証結果：△要確認
- 理由：「百数十回」という具体的な数字の根拠が不明確。国会会議録での実際のカウントが必要

31. 発言総文字数：数十万字規模

- 記載内容：「発言の総文字数も国会会議録ベースで数十万字規模」
- 検証結果：△要確認
- 理由：実際の文字数カウントが必要

32. 提出法案数：5本前後

- 記載内容：「提出法案数は公表データから推計して5本前後」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元PDFでは「5本の議員立法提出に参画」と記載があるが、単独提出か共同提出かの内訳が不明確

33. 迷惑料：20万円

- 記載内容：「当初、迷惑料として現金20万円を渡そうとした」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：毎日新聞の報道と一致

34. 政治資金：年間約2000万円

- 記載内容：「毎年概ね2000万円前後の収入」
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な収支報告書の数字を確認する必要がある

35. 泥酔事件の時刻：午前3時頃

- 記載内容：「午前3時頃まで地元支援者との当選祝い」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道記事と一致

選挙関連数値

36. 第49回衆院選

- 記載内容：「2021年10月の第49回衆院選」
- 検証結果：✓正確

37. 第50回衆院選

- 記載内容：「2024年10月の第50回衆院選」
- 検証結果：✓正確

38. 当選回数：3期目

- 記載内容：「3期目の当選を果たしました」
- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：実質的には2期目または「通算3回当選」
- 根拠：2021年初当選→2024年4月補選（2回目）→2024年10月総選挙（3回目）だが、2024年4月に一度辞職しているため、「3期目」という表現は誤解を招く。正確には「3回目の当選」

3. その他の重要な事実関係

経歴情報

39. 父親の役職

- 記載内容：「父は農林水産大臣を務めた山田正彦元衆院議員」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：山田正彦氏は2010年6月～2011年9月まで農林水産大臣

40. 学歴

- 記載内容：「法政大学卒業後に一般企業勤務」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：公式プロフィールと一致

41. 障がい者支援事業

- 記載内容：「80人規模の福祉事業所を経営」
- 検証結果：△要確認
- 理由：事業所の規模が正確に80人かどうか、現在も経営しているかは要確認

政策・法案関連

42. 主要農作物種子法の復活

- 記載内容：「2025年6月、『公的新品種育成促進法案』等2本の種子関連法案を共同提出」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党の公式発表と一致

43. 有人国境離島法改正案

- 記載内容：「2024年に党単独で発議」「2025年6月には野党4党共同提案に格上げ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：党の公式発表と一致

44. インターネット誹謗中傷対策法案

- 記載内容：「第208回国会で提出」

- 検証結果：✓正確
- 根拠：国会記録と一致

45. 政治資金規正法再改正案

- 記載内容：「野党7党の再改正案」
- 検証結果：△要確認
- 理由：「7党」という数字の正確性を確認する必要がある

議員連盟

46. オーガニック給食議連の役職

- 記載内容：「正式に事務局次長に就任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：関連報道で確認

47. 子どもへのワクチン接種議連

- 記載内容：「『子どもへのワクチン接種と副反応を考える超党派議員連盟』にも名を連ね」
- 検証結果：△要確認
- 理由：議連への所属は確認できるが、活動の詳細は限定的

党内役職

48. 青年局長就任時期

- 記載内容：「2022年には党青年局長に抜擢」
- 検証結果：△要確認
- 理由：正確な就任時期（2022年のいつか）の確認が必要

49. 県連代表代行

- 記載内容：「2021年の初当選後間もなく長崎県連代表代行に就任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元資料と整合性あり

50. 三ツ星議員

- 記載内容：「2022年には『三ツ星議員』に選出」
- 検証結果：△要確認
- 理由：「三ツ星議員」という評価制度の存在と、山田氏の選出について公式な確認が必要

選挙結果

51. 2021年総選挙

- 記載内容：「小選挙区では惜敗しましたが比例九州ブロックで復活当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：選挙結果と一致

52. 2024年補選

- 記載内容：「補選で地元議席を勝ち取ります」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2024年4月の長崎3区補選で当選

53. 2024年総選挙

- 記載内容：「小選挙区では敗れたものの、再び比例復活」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：選挙結果と一致

不祥事関連

54. 事件の詳細

- 記載内容：「見ず知らずの一般宅の玄関ドアを親戚宅と間違えて激しく叩き続け」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道内容と一致

55. 禁酒宣言

- 記載内容：「衆議院議員の任期中は禁酒する」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：会見での発言として報道

56. 辞任した役職

- 記載内容：「立憲民主党長崎県連副代表の職を辞任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：報道記事と一致

改善提案

重大な修正が必要な箇所

1. 政治資金規正法改正の時期（重要度：高）

- 誤：「2023年6月に与党主導で一部改正法が成立」
- 正：2024年12月に改正法が成立
- 修正箇所：8章「①企業・団体献金の禁止」セクション

2. 当選回数の表現（重要度：中）

- 問題：「3期目の当選」という表現
- 提案：「3回目の当選」または「実質2期目（通算3回当選）」
- 理由：2024年4月に一度辞職しているため

3. 県連代表の役職名（重要度：中）

- 問題：「2018年に立憲民主党長崎県連代表に就任」

- 確認事項：「代表」ではなく「代表代行」または「副代表」の可能性
- 修正箇所：概要セクション

追加確認が推奨される情報

4. 金子恵美議員との関係（重要度：低）

- 「同期」という表現の正確性
- 金子恵美氏の当選歴を確認（以前の当選歴がある場合、「同期」は不正確）

5. 具体的な数値データ

- フォロワー数（X、YouTube）
- 国会発言回数と文字数
- 政治資金の詳細
- 福祉事業所の規模

6. 「三ツ星議員」の選出（重要度：低）

- この評価制度の公式性と選出事実の確認

7. 野党7党の再改正案（重要度：低）

- 正確な参加政党数

8. 青年局長就任の正確な時期（重要度：低）

- 2022年の何月か

9. 提出法案数の内訳（重要度：中）

- 単独提出と共同提出の内訳
- 各法案の正式名称

10. 半島振興PT、離島政策PTの正式名称と役職（重要度：低）

文体・表現の改善提案

11. 数値の曖昧な表現

- 「百数十回」「数十万字」「5本前後」などの表現について、可能であればより正確な数字に

12. 「△要確認」項目について

- 特に重要度の高い項目（政治資金額、事業所規模など）は、可能であれば追加調査を推奨

表記の統一性

13. 法律名の表記

- 「主要農作物種子法」と「種子法」の使い分けは適切
- 「有人国境離島法」の正式名称確認（通称として問題なし）

14. 委員会名

- 「消費者問題に関する特別委員会」の表記は統一されている
-

総合評価

全体的な正確性

記事全体として、固有名詞や基本的な事実関係は概ね正確です。元PDFドキュメントの情報を忠実に反映しており、大きな事実誤認は少数に留まっています。

主要な問題点

1. 政治資金規正法改正の時期が最も重大な誤り
2. 当選回数の表現に誤解を招く可能性
3. 一部の数値データが推定値であることが明示されていない

推奨される対応

- 上記の「重大な修正が必要な箇所」3点は必ず修正
- 「追加確認が推奨される情報」のうち、重要度が中～高のものは可能な限り確認
- 数値データについては、推定値である場合は明示的に「約」「推定」などの表現を追加

この記事は全体として信頼性が高く、軽微な修正で十分に正確なファクトベースの記事として活用できる品質です。